

平成28年度事業計画

(一社)でんき宇奈月プロジェクト

当法人の事業区分を超え、地方創生を実行するためにも、多様なコンソーシアムに参画し、様々な事業や地域の活性化を図ることを進める。

1. 小水力発電事業

(1) 宇奈月公民館裏

宇奈月谷小水力発電所(でんきウォー太郎1号)の継続稼働を安定して実施する管理運営体制とする。

(2) 宇奈月公園(たらい型水車)

宇奈月公園内に、たらい型水車(でんきウォー太郎2号候補)を設置し、公園内で電力消費を行う。

(3) 音沢地区発電

流量調査等をすすめ、事業性を評価する。

(4) 弥太蔵[やたぞう]構想の調査

弥太蔵発電所の跡地での小水力発電所の新規開発についての情報収集を行う。

2. EMU運行事業

(1) 運行の実施及び管理

冬期間を除く毎日複数台の運行を実施する。また、運行計画・管理、運転手対応やEMU車両保管場所・充電設備について、3台運行体制を効率よく行え、持続可能なものに整備する。

(2) 観光客誘致に関わるイベント等の実施

宇奈月温泉街及び黒部市他での既存のイベントとのジョイントやEMUを使った温泉街の活性化につながるイベントを計画し、実施する。

3. スローモビリティ事業

(1) EMUを活用した地域活性化の提案

県内の有望地区に対して、EMUの域内シャトル運行などEMUを活用した地域の活性化事業を提案し、対象地域の合意が得られれば実施に向けて協力する。

(2) 歩行者空間にぎわい創出

宇奈月温泉街において、安全な歩行者中心のスローモビリティ空間を形成し、にぎわいの創出を計る。

4. 温泉熱利用事業

地元住民・行政・企業等が連携した温泉水、温泉熱の利活用モデルについて検討する。特に自然エネルギーの地産池消による地域活性化を目指した事業について調査検討する。

5. 山と温泉のレジャーと健康づくり事業

一般社団法人黒部・宇奈月温泉観光局と連携し、でんき宇奈月プロジェクト視察を含めたモデルツアーの構築を行う。また、一般社団法人立山黒部ジオパーク協会との連携を進める。

6. ECOうなづき人育成事業

(1) 毎月発行している「かわら版」等を利用し、再生可能エネルギーや地球温暖化に関する情報を提供する。

(2) プロジェクトを通して賛同者を増やし、ECO うなづき人として活躍できる人材の育成を行う。

7. バイオマス利用調査事業

森林伐採や流木を基盤としたバイオマス利用の事業性等を調査する。

平成28年度 収支予算

収入

	金額	備考
会費	837,000	
正会員（個人）	117,000	3,000×39名
正会員（法人・団体）	700,000	20,000×35口（16社）
賛助会員	20,000	10,000×2社
補助金	7,000,000	
黒部市	3,000,000	歩行者空間にぎわい創出事業(運行)
	4,000,000	歩行者空間にぎわい創出事業(充電)
事業収入	3,520,000	
EMU貸出	300,000	3件
EMU貸出広告	1,620,000	横幕広告15件
EMUデータ	1,400,000	
視察代	200,000	1,000円×200名
雑収入	2,400,566	
企業協賛金等	2,400,000	
雑収入	566	利息等
繰越金	96,434	
合計	13,854,000	

支出

	金額	備考
事業費	12,076,726	
EMU運行事業費	11,584,000	計
	4,170,000	運行委託費
	2,000,000	運行整備・管理
	640,000	車税、任意保険料
	400,000	点検、修理
	4,320,000	充電短縮
	54,000	消耗品費・ちらし費用
EMU運行事業以外	411,726	計
	50,000	講演会講師 謝礼・旅費
	30,000	普及啓蒙活動
	7,726	発電水利用料
法人税	81,000	
事務局費	1,644,800	
人件費	1,555,200	129,600円×12ヶ月
会場使用料	21,600	総会・講演会
消耗品費	5,000	
通信費	33,000	計
	20,000	郵送料
	13,000	インターネット
雑費	30,000	計
	10,000	振込手数料
	20,000	諸団体年会費
予備費	132,474	
合計	13,854,000	